



地域高規格道路「山陰近畿自動車道」国道178号(岩美道路)(岩美郡)

くらしを支える 地域のベストパートナー

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS
持続可能な開発目標

業務案内2021



ベタ踏み坂(江島大橋) ©鳥取県 (境港市)



ごあいさつ

公益財団法人鳥取県建設技術センターは、建設行政の適正かつ効率化を図るため、建設資材の品質確保、建設技術の向上並びに建設発生土の適正な処分及び有効利用を促進する事業を行い、もって国土の利用、整備又は保全の推進と地域の発展に寄与することを目的として、鳥取県と市町村、鳥取県建設業協会からの出捐金により昭和57年に設立され、平成24年4月から公益財団法人へ移行しました。



これまで、当センターでは、「公共工事等に関する発注者支援」、「建設資材の試験及び調査研究」、「技術研修」、「建設発生土の処分」の事業を柱に社会資本整備の推進と建設産業の発展のための事業を実施しており、今年で39年目を迎えました。

コロナ禍により、世界的に経済、雇用情勢に大きな影響を与えており、国内におきましても先行き不透明な状況になっていますが、時代のニーズに応じながら、建設産業の発展、地域の活性化に向けた支援を行って参ります。

このたび、当センターでは、更なる良質な社会資本整備のために、支援機関として充実を図り地域に貢献していくため、第4期経営改善計画(R3～7)を策定しました。

◆基本理念◆「持続的な地域支援と経営の安定化」

- 経営方針● 『①安定的な経営の確立、②人材の育成、③ICT等の活用による業務の効率化
④担い手の確保と育成、⑤組織力の強化(活性化)、⑥働き方改革』

今後とも、公益法人としての建設技術の向上並びに発注者支援に一層努めてまいります。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症により、経済活動にも影響がでてきております。医療関係者の皆様の労苦に感謝申し上げますとともに、早く収束するようお祈り申し上げます。

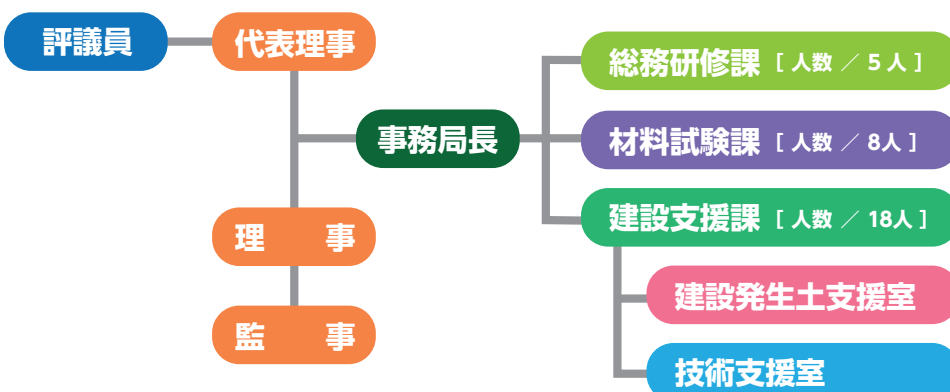
公益財団法人 鳥取県建設技術センター

代表理事 山田 和成

■ 概要

- 名 称 公益財団法人鳥取県建設技術センター
○設立年月日 昭和57年4月1日
○基本財産 8,900千円(自己資本6,900千円)
○所在地 〒682-0018 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地

■ 組織図



■ 資格取得者一覧

資格名	人数
技術士補	5
1級土木施工管理技士	10
測量士	2
測量士補	4
コンクリートマイスター	2
コンクリート主任技士	2
コンクリート技士	3
コンクリート診断士	4
公共工事品質確保技術者(I)	3
公共工事品質確保技術者(II)	5
1級管工事施工管理技士	1
1級舗装施工管理技士	1
道路橋点検士	1
コンクリート構造診断士	1
プレストレストコンクリート技士	2
RCCM(鋼構造及びコンクリート)	2
RCCM(道路)	1
RCCM(土質及び基礎)	1
RCCM(河川、砂防及び海岸・海洋)	2
RCCM(建設環境)	2
地質調査技士	2
下水道第2種検定	2

研 修

建設産業に必要な技術者の継続的かつ高度な資質の向上を図るとともに、働き方改革への対応、生産性向上、職場環境に配慮した研修を実施します。

■ 自主研修(44研修)

令和3年度の研修の特色

区 分	内 容	研 修 名
新人・若手技術者の建設産業への定着につながる研修	現場で必要となる基礎的知識や技術を丁寧に解説するとともに、実技・演習を取り入れた現場で役立つ実践的な内容	●新人技術者のための公共工事基礎 ●ゼロから始める現場管理 ●初めての構造力学 ●コミュニケーション ●メンタルヘルス
インフラ維持管理に関する研修	道路構造物等の老朽化の原因を調査して究明し、その対策を講じることに重点を置いた内容	●道路構造物の維持管理 ●橋梁維持補修 ●橋梁点検と補修計画 ●河川構造物の維持管理 ●コンクリート構造物ひび割れ補修
デジタル化への対応、働き方改革に関する研修	新型コロナウイルス感染症や働き方改革、生産性向上など、建設産業が抱える課題を解決するため、社会資本整備・建設DXに対応する内容	●建設業におけるICT活用 ●新技術・新工法 ●経営管理



丁張り研修のようす(現場研修)



センター会場での受講のようす

■ 鳥取県受託研修(20研修)

技術職員の技術力向上、良質な工事執行の確保及び工事の監督業務の適正化を目的として、県土整備部技術職員研修を実施します。



●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として「Webセミナー方式」、「センター会場受講方式」が選べます。

材 料 試 験

建設資材の品質の確保を図るため、骨材、コンクリート、鋼材、アスファルト、土質、水の試験を実施します。

- 当センターは、産業標準化法試験事業者登録制度(JNLA)に基づく登録試験事業所です。
登録項目は、骨材5項目、コンクリート3項目です。
希望により、試験成績書に右の標章が付きます。



(100302JPは当試験所の登録番号です。)

- 公的試験機関として、建設材料の品質管理試験(6試験分類74試験項目)を行っています。
- 建築工事標準仕様書JASS5に示されるコンクリート圧縮強度試験などを実施する第三者試験機関です。

JNLA登録試験

試験分類	試 験 項 目	JIS
骨 材	細骨材、粗骨材のふるい分け試験	A 1102
	細骨材、粗骨材の微粒分量試験	A 1103
	粗骨材のすりへり試験	A 1121
	細骨材、粗骨材の安定性試験	A 1122
	骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)	A 1145
コンクリート	コンクリートの圧縮強度試験	A 1108
	コンクリートの曲げ強度試験	A 1106
	コアの圧縮強度試験	A 1107, 1108



ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

技術支援

地域の守り手として、総合的な社会資本整備、維持修繕を行うため、技術的なアドバイスを行うなど県・市町村の技術支援を行います。

- 総合的な発注者支援を行うため、県・市町村公共工事の積算補助、現場技術補助、工事検査補助、橋梁補修アドバイス業務、災害復旧の技術支援を行います。
- ドローンを活用した測量データの3次元化や橋梁等の台帳管理・電子化などICTを活用して技術支援の取組みを進めています。

■ 積算、現場技術業務



公共工事の起工設計書、現場技術業務を補助し変更設計書を作成します。

渡84号線道路
改築工事(その4)
<境港市>

■ 工事監督補助業務・工事検査業務



公共工事の監督業務、完成検査業務を実施します。

上井地区
雨水排水路工事
(1工区)<倉吉市>

■ 橋梁補修アドバイス業務



塗装塗替、FRPシート補修事例



補修前



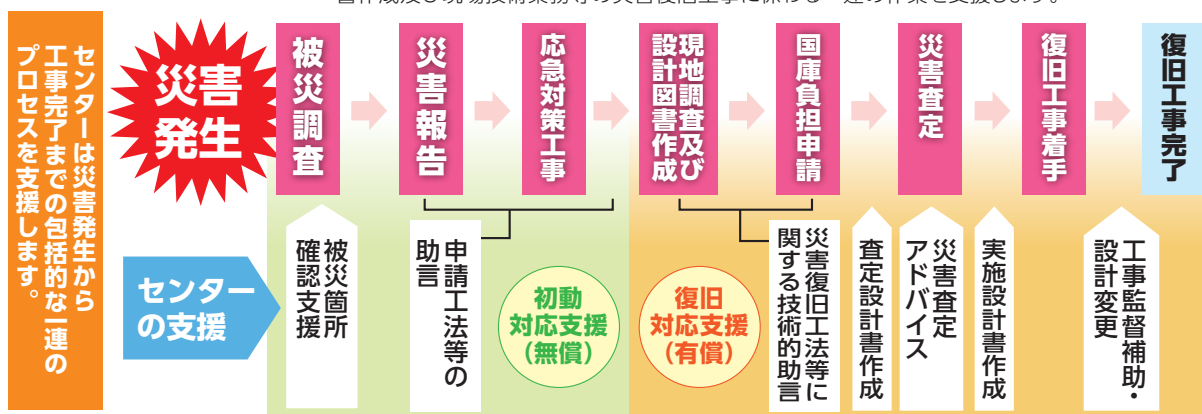
補修後



- 橋梁補修が経済的かつ効率的な業務になるようアドバイスします。
- 詳細調査及び詳細設計を進めるうえで、必要な技術的アドバイスを市町村に対して行います。

■ 災害復旧支援業務

災害発生時の被災状況調査、復旧工法等のコンサルタントとの協議、査定設計書作成、実施設計書作成及び現場技術業務等の災害復旧工事に係わる一連の作業を支援します。



■ ドローンを活用した技術支援

- 公共施設の管理・点検補助、災害時の被災状況把握、防災関連情報資料等、幅広い支援を行います。
- 点群処理ソフト(ドローンの空撮写真を3次元でデータに変換)を使用し、造成土量の把握、災害被災規模の把握や橋梁一般図を作成します。

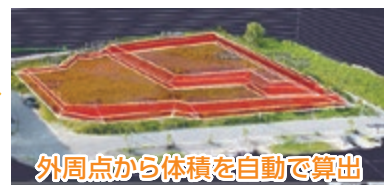
点群ソフトを利用した土の体積について



ドローンによる空撮



空撮画像を点群データ化



外周点から体積を自動で算出

建設発生土受入

公共工事から発生する建設発生土の適切な処理及び有効利用により、公共事業の円滑な執行を図り社会資本整備の推進に寄与します。

建設発生土受入事業所

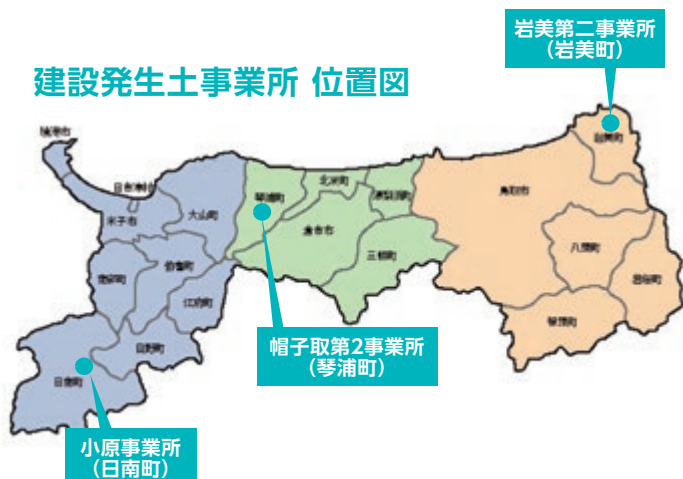


【帽子取第2事業所】[東伯郡琴浦町八橋]
(受入土量:45万㎡、面積:5.9ha)



【小原事業所】[日野郡日南町霞] (受入土量:25万㎡、面積:7.6ha)
※鍵掛峠道路事業の関連工事専用

建設発生土事業所 位置図



【岩美第二事業所】[岩美郡岩美町宇治]
(受入土量:20万㎡、面積:4.0ha) ※国道178号(岩美道路)の関連工事専用



- 建設発生土は、埋立や盛土の材料として土地造成などに利用できる再生資源です。
- センターでは、安全な建設発生土処理と跡地の有効利用を推進しています。

跡地の活用事例



鳥取市国府町三代寺(受入土量:118万㎡、面積:10.0ha)



鳥取市河原町小倉(受入土量:95万㎡、面積:10.2ha)

建設産業の魅力を発信しています



● けんせつフェスタ (旧名称:建設技術センターまつり)

毎年10月、主にファミリー層を対象に建設産業に親しみを持ってもらうとともに、地域における役割や魅力を広く理解してもらう催しを関係機関と連携して行っています。



写真家 山崎エリナ写真展



ドローン操縦
シミュレーション体験

● とっとり建設産業の魅力 発信講座

小中学生を対象に建設産業への関心や就業意識を高めるための講座を行っています。

- 防災学習、建設の仕事を知る(測量体験、橋の点検・高所作業車体験)
- ものづくり体験(ペーパーウエイト)
- ドローン撮影 などを行っています。



測量体験(天神川河川敷)

● 鳥取県建設分野 担い手確保・育成連携協議会

(発足H29.1.12) <事務局>鳥取県建設技術センター

産学官と連携しながら将来を見据えた持続可能な建設産業を目指し、担い手の確保・育成のための事業などを推進しています。



【事業内容】

- フォトコンテスト(小中学生)
- 職場体験(中学生)
- 資格取得支援(高校)など

Facebook
QR



<構成員>鳥取県土木整備部、鳥取県立産業人材育成センター、鳥取県教育委員会、鳥取県市長会、鳥取県町村会、国立大学法人鳥取大学(一社)鳥取県建設業協会、(一社)鳥取県測量設計業協会、(公財)鳥取県建設技術センター

● とっとり建設☆女星ネットワーク

(発足H31.4.23) <事務局>鳥取県建設技術センター

誰もが働きやすい建設産業を目指し、女性ならではの発想と感覚で建設産業の魅力を発信する「けんせつ絵本のおはなし会とワークショップ」の開催や他地域の女性ネットワークとの意見交換、Webセミナーなどの取組を進めています。



重機ラジコン
操縦体験

Facebook
QR



<構成員>建設産業に携わる法人、個人

■ 位置図



公益財団法人
鳥取県建設技術センター

- 総務研修課 / TEL.0858-26-6051 FAX.0858-26-6052 [研修・図書/TEL.0858-26-6065]
- 材料試験課 / TEL.0858-26-6377 FAX.0858-26-6052
- 建設支援課 / TEL.0858-26-6089 FAX.0858-26-6004 [建設発生土支援室/TEL.0858-26-6089] [技術支援室/TEL.0858-26-6324]

フェイスブックで
情報発信
しています



〒682-0018 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
TEL.0858-26-6051 FAX.0858-26-6052